

新聞の投書を読もう

～4つの投書について、自分の意見を考えよう～

小学6年

国語 「新聞の投書を
読み比べよう」

資料の活用・利用指導

ねらい

○新聞の投書を読んで、納得できる点や、反論したい点を考え、自分の意見を持つことができる。

○4つの投書の構成を参考に、自分の書く投書の構成を考え、自分の意見や主張を置く部分を工夫することができる。

学 習 展 開

- ① 5～6人でグループワークをすることを知らる。
- ② 朝日新聞 声の欄「漢字の書き順どうでもいいの? (仮)」のもとになる投書とそれに対する4つの投書1つか2つを読む。
- ③ グループ別に、投書に対する自分の考えや見つけた工夫を付箋に書く。
- ④ グループ内で書いたものを紹介し合い、ワークシートに貼って話し合う。
- ⑤ 学級全体でグループワークしたシートの感想・意見を紹介し合う。
- ⑥ 4つの投書のうち2つか3つ(意見の位置が違うもの)を参考として紹介する。
- ⑦ ふり返りをする。



◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、朝日新聞「声の欄」から、児童が関心を持ちそうなものを選ぶ。
- 学校司書と司書教諭と相談して、見本となるワークシートとグループワーク用のシートを作成する。
- 学校司書はもとになる投書を読み聞かせる。
- 司書教諭は、対応する4つの投書を読み、グループワークにつなげる。

★指導のポイント

- ◆ 複数学級の場合、4つの投書を分担して意見交換し、後に、それぞれの話し合いの結果を共有すると良い。
- ◆ 取り上げる投書は、児童が課題点を見つけやすいものにし、構成の違うものを最後に紹介すると良い。

資料

朝日新聞 声の欄 (投書)